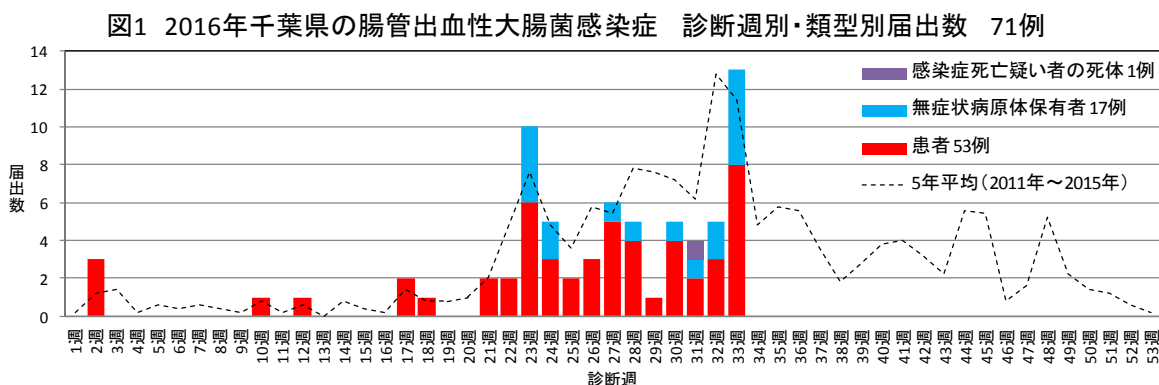


## 【今週の注目疾患】

### 腸管出血性大腸菌感染症

千葉県では、2016年33週に13例の届出があり、2016年1週～33週の累積届出数は71例となった(図1)。腸管出血性大腸菌は少量の菌数(100個程度)でも感染が成立するため、人から人への経路、または人から食材・食品への経路で感染が拡大しやすい<sup>1)</sup>。届出数が増加したため、2016年1～33週に届出された71例の発生状況をまとめた。



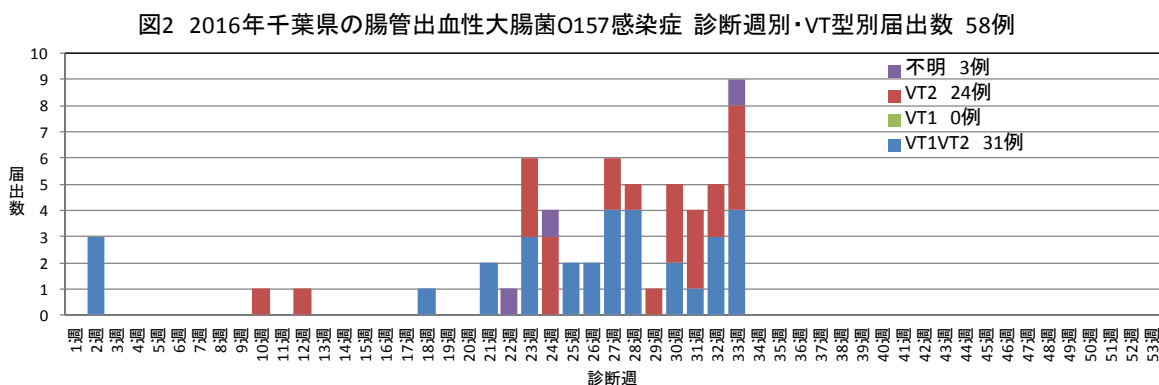
類型別では、患者53例(74.6%)、無症状病原体保有17例(23.9%)、感染症死亡疑い者の死体1例(1.4%)であった。

性別では、男性34例(47.9%)、女性37例(52.1%)であった。

年齢群別では、20代18例(25.4%)、5歳未満12例(16.9%)、30代9例(12.7%)が多かった。

患者53例の症状等は、腹痛41例(77.4%)、水様性下痢34例(64.2%)、血便31例(58.5%)、発熱12例(22.6%)、嘔吐4例(7.5%)、急性腎不全1例(1.9%)であった(複数報告あり)。

O血清群別では、O157が58例(81.7%)、O26が9例(12.7%)、不明が2例(2.8%)、O111が1例(1.4%)、O165が1例(1.4%)であった。最も報告が多いO157をVT型別に図2に示す。



### 参考

1) 病原微生物検出情報 (IASR) Vol. 37 No. 5 腸管出血性大腸菌感染症 2016年4月現在

URL : <http://www0.nih.go.jp/niid/idsc/iasr/37/435.pdf>